

ツールの利用方法

1.1 ツールの説明



① Time

秒数まで表示してくれる時計。

エントリーを行うときに、秒数まで表示していますので時間ぴったりにエントリーを行うときに非常に役に立ちます。

② Bollinger bands 2 σ ,3 σ

上下にローソク足を囲むように引かれていて、相場の状態を教えてくれる線。

エントリーを行うときには利用しないが、二つの線の間隔や荒れ具合によって瞬時に相場の状態を理解することができます。

③ Brain line

赤と青のひし形が連なっている線は、ローソク足の反発が起きた場所に自動的に線を引いてくれるものとなっています。

一度反発が起きたポイントはトレーダーが意識している部分となりますので、次にローソク足が近づいてきた時に跳ね返りやすい傾向があります。

④ **移動平均線**

相場の状態を瞬時に判断することができる線。

移動平均線が上向きに向いていれば相場は上向きの傾向があり、下向きに向いていれば相場は下向きの傾向がある事を瞬時に判断することができます。

⑤ **Assassin**

赤い矢印と青い矢印でエントリーポイントのサポートをしてくれるインジケーター。

ある条件の元、反発がおきやすいポイントをピックアップして教えてくれます。

⑥ **Assassin2**

ローソク足の上か下に黄色い丸でエントリーポイントをサポートしてくれるインジケーター。

このインジケーターと **Assassin** を組み合わせることでエントリーポイントを見つけ出すことができます。

⑦ **Oscillator calculator**

様々なオシレーターの傾向を示してくれる表。

それぞれのオシレーターが上向きの傾向があるときは「UP」と表示され、下向きの傾向があるときは「Down」と表示されるようになっています。

エントリーを行うときにエントリーの方向と逆の示唆が半分以上出ているときのエントリーを抑えるようにしてください。

1.2 基本的なエントリー方法

Assasin の基本的な仕様は以下になっております

取引時間：平日

時間足：5 分足以上

エントリー時間：次のローソク足（5 分足なら 5 分、15 分足なら 15 分）

取引手法：一点がけ

となっております。

次に、具体的なエントリーポイントについてご説明させていただきたいと思います。

基本的なエントリーポイント その1



画面上に赤丸と白丸の部分があると思います。

赤丸はエントリーポイントとして適切なポイントで、白丸はエントリーしてはいけないポイントとなります。

基本的なエントリーポイントは黄色い丸と赤矢印、もしくは青矢印が重なって表示された次のローソク足でのエントリーとなります。

白丸は、黄色い丸だけしか表示されていないのでエントリーしてはいけません。

なお、エントリー手法は矢印の方向に順張りでエントリーを行ってください。

基本的なエントリーポイント その2



青と赤の矢印とひし形の線が出ている部分でエントリーを行います。

ひし形の線は最初の矢印のあとに形成されることがあるのですが、その形成されたあとにもう一度青か赤の矢印が表示された時に、エントリーをするという手法になります。

このポイントでエントリーを行うときの注意点が、ローソク足がひし形の線に触れていることと、次のローソク足に移るタイミングで出た矢印のみエントリーが可能です。

※ただし、このエントリーポイントを表示してくれるインジケータは再描写されるのでエントリーを行う際は注意が必要です。

始めてバイナリーオプションを行う方は「基本的なエントリーポイント その1」だけを行うことをオススメします。

文字ではわかりにくいと思われる方は動画の方もご用意させていただきましたのでこちらをご覧くださいいただければと思います。

Assasin 利用方法

→<https://youtu.be/Wwv8l-45ov0>

Assasin エントリーにおける注意事項

→<https://youtu.be/m4N9c4QKH2s>

1.3 エントリー条件

次にエントリー条件についてご説明させていただければと思います。

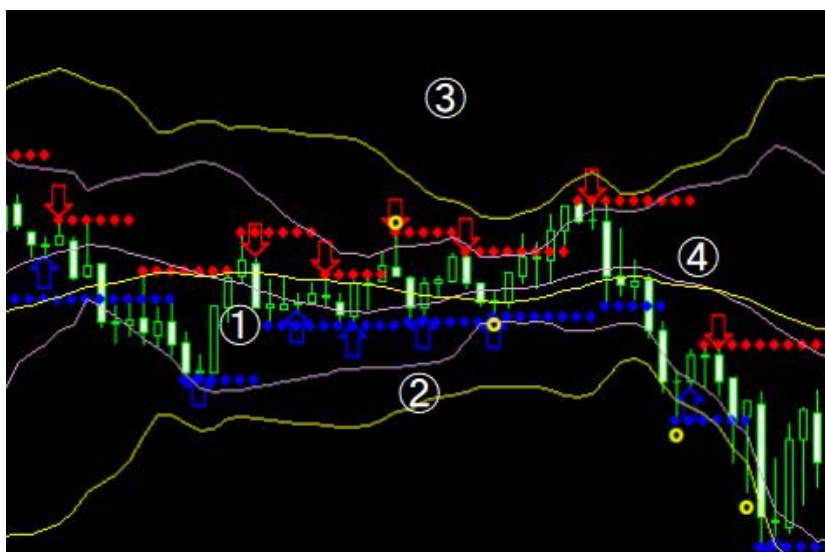
エントリーポイント その1のエントリー条件



- ①黄色い丸と矢印が重なっていること
- ②移動平均線の順番が上昇の場合上から「白」「黄」、下降の場合上から「黄」「白」の順番になっていることを確認する
- ③ボリンジャーバンドが乱れていないかを確認する（上下に広がっていないことを確認する）
- ④エントリーポイントが移動平均線から離れすぎていないことを確認する

以上のエントリー条件がそろった時にエントリーを行うようにしてください。

エントリーポイント その2のエントリー条件



- ①Brain line が複数一致しているポイントを見つける
- ②矢印が出たことを確認する
- ③レンジ相場になっていることを確認する
- ④レンジが長く続いていないことを確認する（レンジ相場の後はトレンドが発生しやすいため）

以上のエントリー条件がそろった時にエントリーを行うようにしてください。

「エントリーポイント その2」は矢印が遅れて表示されることもありますので、エントリーを行う際は自己裁量が必要となりますので注意してください。

1.4 エントリーを行う前に

エントリーを行う前に必ずやってほしいことがあります。

それは相場がどちらの傾向にあるのかを大まかに確認していただきたいのです。

これを行うことで勝率が高まります。

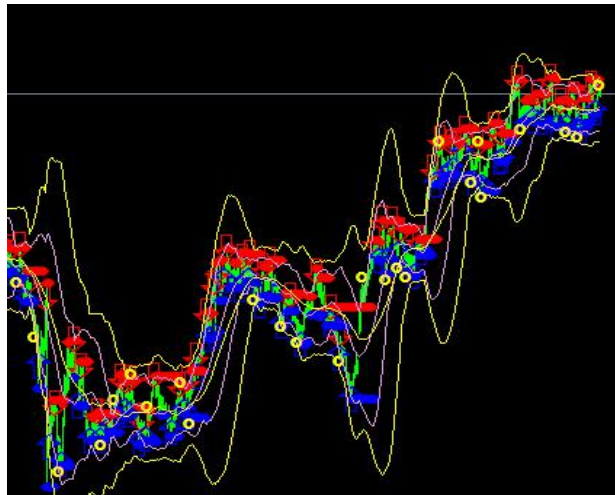
傾向の見方なのですが、チャートの画面を縮小して相場全体を見るようにして、その日の相場全体がどちらの傾向に進んでいるのかを確認してください。

もし、その日が買いの傾向があるなら買いエントリーをメインに考えてエントリーを行ってください。

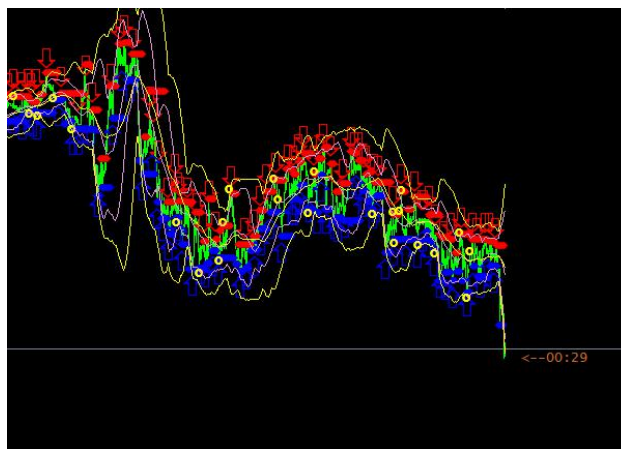
逆に、その日が売りの傾向があるなら売りエントリーをメインに考えてエントリーを行うようにしてください。

また、どちらの傾向が見られない相場の際はエントリーを控えるようにしてください。

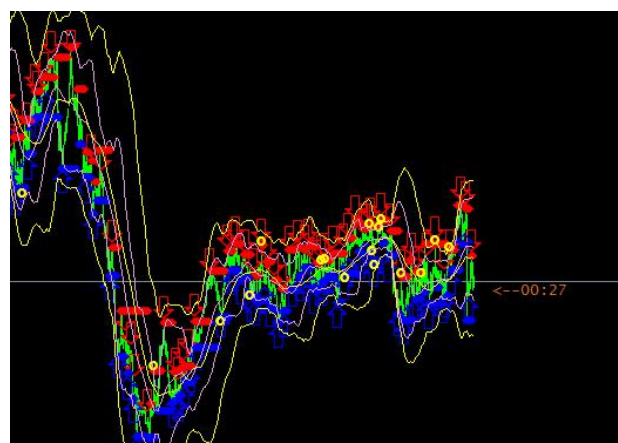
・買いの傾向があるときの相場



- 売りの傾向があるときの相場



- どちらの傾向もない相場

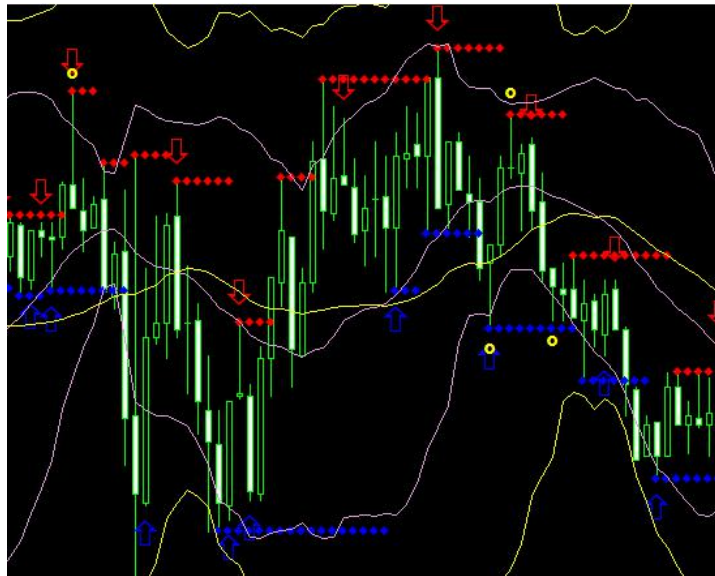


1.5 エントリーにおける注意事項

いくつかのエントリー方法についてご説明させていただきましたが、取引を行うにあたりいくつかの注意事項があります。

この注意事項を守っていただくことによってさらに勝率の高いエントリーを行うことができるようになります。

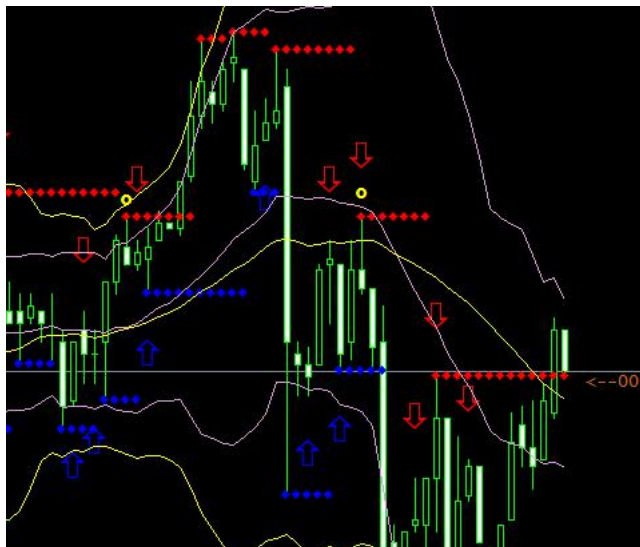
- ・ローソク足が長いときのエントリー



エントリーを行うときにそれまでのローソク足と明らかに違うローソク足が出た時のエントリーは控えるようにしてください。

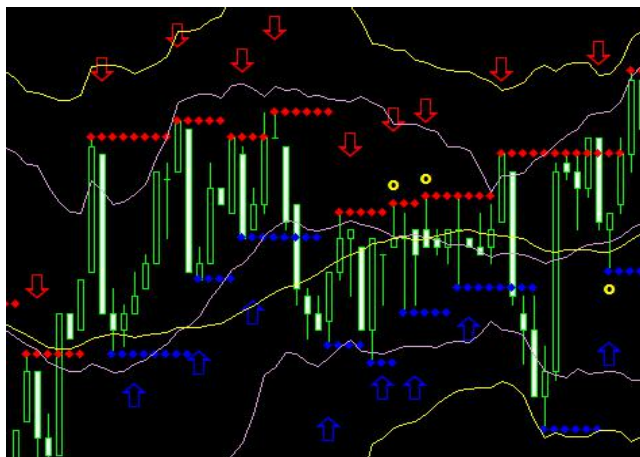
長いローソク足が出たあとの次のローソク足は逆の方向に向かいやすいので注意が必要となります。

- ・長いローソク足が出たあとのエントリー



上の写真のように長いローソク足が出たあとに矢印が出る時があります。
長いローソク足が出たあとは周りに表示されているオシレーターが狂ってしまい正確な情報を表示できない可能性があるなのでこの時のエントリーは控えるようにしてください。

- ・ヒゲが頻発している箇所でのエントリー



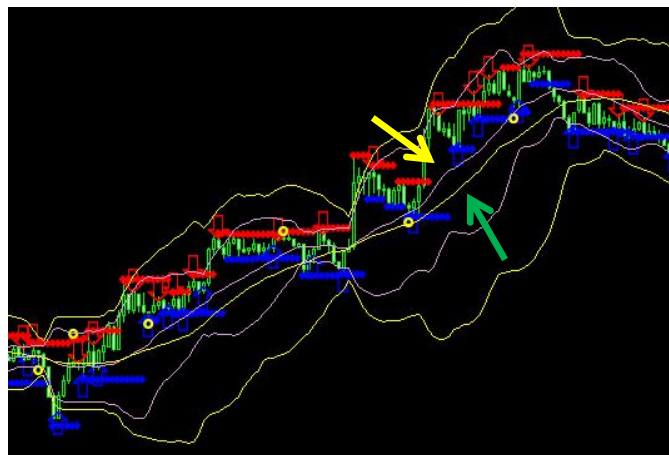
上の写真のようにヒゲが頻発している部分があります。
この時は相場が荒れており、突然急激な変化をすることがあるので、このような状態でエントリーを行うことはかなり危険です。
ですので、このような場合もエントリーは控えるようにしてください。

- ・ ボリンジャーバンドが開いているとき



上の写真のように二つのボリンジャーバンドが大きく開いていることがわかんと思います。
このような現象が発生しているときはインジケーターの計算が乱れている可能性があり、
このようなときにエントリーを行ってしまうと負けてしまう可能性があります。
ですので、写真のように大きな乱れが発生しているときはエントリーを控えることをオススメします。

- ・移動平均線の関係



買いエントリー



売りエントリー

チャート上に移動平均線が2本表示されているのですが、この二つの線の間を意識することで勝率を高めることができます。

エントリーを行う際、買いエントリーであれば白色が上で黄色が下になっていることを確認し、逆に、売りエントリーの際は白色が下で黄色が上になっていることを確認したうえでエントリーを行うことで傾向にあったトレードを行うことができ、勝率を高めてくれることができます。

これらはツールを利用するうえでの最低限の注意事項になります。

※ツールをご利用になって投資を行う際は、あくまでも自己責任でよろしくお願い致します。